

みんなで
取り組む

獣害対策

中山間地域を中心に、イノシシ、シカ、サルによる農作物などへの被害が発生しています。また、近年では平野部の農地や家庭菜園などにも被害が及んでいます。

被害を少なくするために、一人ひとりの対策と地域ぐるみによる被害防止活動に、継続的に取り組むことが重要です。

問合せ先 環境産業部農政室
(☎84-5082)

イノシシ



足跡：4本指。後2本の跡は地面が柔らかいと残る
フン：粒状のものがひとかたまりに



【特徴など】

- 体毛は太く、剛毛
⇒電気柵は鼻に当てないと効果なし
- 怪力・高いジャンプ力
⇒助走せずに1mもの柵を飛び越える
⇒鼻で50～60kgの重さを持ち上げる
- 雑食性で、イモ、タケノコ、イネの穂、ミミズなど基本的に何でも食べる
- 臆病で注意深く、人前には姿を現さない
- 年1回の繁殖、平均4～5頭出産と多産
- 寿命はオスが約6歳、メスが約10歳

シカ (ニホンジカ)

足跡：4本指。跡が残るのは前2本
フン：俵型(粒状)



【特徴など】

- 高いジャンプ力
⇒助走せずに1.5m以上の障害物を飛び越える
- 柵の下や隙間をくぐり抜けることも
⇒柵の下部も守らないと侵入される
- 草食性で、口が届く高さ(2m)以下の葉や小枝はほとんど何でも食べる
- 警戒心が強いが、慣れると大胆に
- えさが豊富であれば毎年出産
- 寿命は約4歳

サル (ニホンザル)



足跡：5本指。親指が短く4本に見えることも
フン：棒状のものが多く



【特徴など】

- 高い学習能力
⇒えさの場所を学習するが、しつこく追い払いされた恐怖体験も忘れない
- 新しいものや状況、場所を警戒するが、いったん慣れると大胆不敵
- 雑食性で基本的に何でも食べる
- メスを中心に10数頭～100頭の群れを構成
- 栄養状態が良いと毎年出産(通常は2～3年に1頭)
- 寿命は約20歳

～獣害対策に電気柵を使用されている人へ (注意喚起)～

電気柵による事故防止のため、設置にあたって守らなければならない基準 (安全対策)

- ①危険である旨の表示をすること (子どもにもわかりやすい表記で!)
- ②出力電流が制限される電気柵用電源装置を使用すること (家庭用電源から直接電気を供給しない!)
- ③漏電遮断器を設置すること (30ボルト以上の電源を用いる場合のみ)
- ④開閉器 (スイッチ) を設置すること (電源装置本体に附属で、容易に操作可能であれば追加設置は不要)



【被害状況】

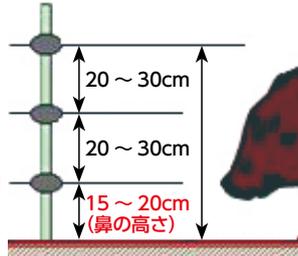
水稻被害、畦畔の踏み荒らしなど



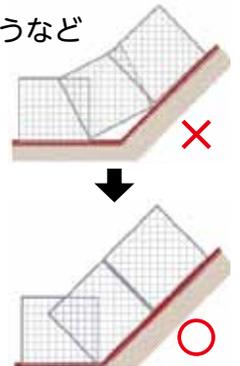
【対策など】 ～臆病な性格を意識した対策を～

- エサを残さない、与えない（「エサ場」と認識させないため）
⇒落ち穂や2番穂を処理する、野菜くずや生ごみなどは放置しない
- 隠れ場所を減らす、見通しを良くする
⇒耕作放棄地を解消する、田畑周辺のやぶを刈り払うなど
- トタン・鉄網・電気柵などで正しく囲む

感電しやすい
鼻先に当たり
やすいように、
最下線を地面
から15~20cm
の高さにする



地面との隙間を
なくす。最初は
小さな隙間でも、
徐々に広げ、
柵を破壊するお
それがあるため



【被害状況】

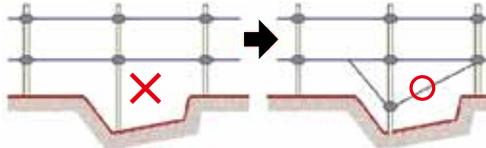
水稻被害、樹木の剥皮被害など



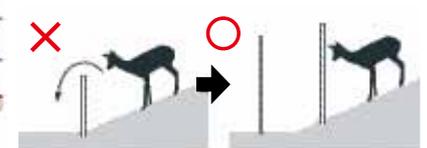
【対策など】 ～冬場の雑草管理を意識した対策を～

- エサを残さない、与えない（「エサ場」と認識させないため）
⇒落ち穂や2番穂を処理する、野菜くずや生ごみなどは放置しない
- 冬場の緑草帯を減らす（刈り払いの時期を変える）
⇒刈り払いの時期を早める（お盆頃まで）ことは、冬場の緑草帯（エサとなる青草）を減らすことにつながります。
- トタン・鉄網・電気柵などで正しく囲む

下部から侵入されないように、
電気柵の線の位置を工夫する



柵はできるだけ斜面を避けて設置、
または柵の高さをかさ上げする



【被害状況】

野菜の食害、建物等の破損など



【対策など】 ～サルを寄せ付けない集落づくりを～

- エサを残さない、与えない（「エサ場」と認識させないため）
⇒収穫されずに放置された野菜・果樹などは埋めるなど処分する
- 囲えるものは正しく囲う（維持管理をしっかり行う）
- 積極的に追い払う（1人よりも複数の方が効果的）
⇒サルがくつろげない集落をつくり、時間を与えないようにする

サルに進入方法を
考える時間を与え
ないよう、しつこく
追い払う。そのため
には、1人よりも複
数の方が効果的



「おじろ用心棒」
サルにも効果的
な電気柵（サルが
登って柵線に触
れると、感電して
飛んで逃げる）



—市の獣害対策や補助制度—

次の獣害対策などを行っています。環境産業部農政室へご相談ください。

- ① 獣害対策出前講座（専門の講師を派遣し、対策実演や意見交換などを行う）
- ② 防護柵設置に係る費用補助（資材購入前にご相談ください）
- ③ 追い払い用ロケット花火の配布（使用上の注意事項あり）
- ④ サルの群れの位置情報の配信（事前にサルの位置情報を知ることによって対策できる）

